

運営モニタリング結果（令和4年度）

1. 施設の利用状況

・「A：優れている」「B：標準」「C：劣っている」

分類	評価項目	評価	評価の理由
施設の利用状況	(1) 利用者数	A	実績値約 61 万人（計画値 55 万人）
利用者満足度	(1) 利用者からのアンケート結果 (2) 利用者からの意見・苦情等への対応	A	・利用者アンケート満足度 96%（目標値 80%以上） ・意見や苦情等については、関係部署へ情報共有し、原因分析するとともに、再発防止や改善等の対応に努めている。

2. 要求水準等の達成状況

・ 「A：計画を上回る実績」「B：計画どおりの実績」「C：計画どおり実施できず」による判定とする。

分類	評価項目	評価	評価の理由
職員の研修計画	サービス向上研修、危機管理研修等の開催回数、他館への視察・研修の実施回数	A	要求水準等を上回る回数を実施している。
展示（基本展示、企画展示）	1日あたりアテンド回数、展示更新回数、企画展開催回数	B	概ね要求水準等どおり実施している。
ドームシアター	投影回数、番組作成数、イベント実施回数	B	要求水準等どおり実施している。

分類	評価項目	評価	評価の理由
演示、体験学習、クラブ活動	サイエンスショー、科学体験、ものづくりプログラム、セミナー講座、サイエンスカフェ、フィールドワーク、天体観測会、ロボスクエア業務、クラブ活動の実施回数	B	概ね要求水準等どおり実施している。
学校・地域連携、地域交流	出前授業、アウトリーチ活動、イベント等	B	要求水準等どおり実施している。
ライブラリー活動	イベント実施回数	A	要求水準等を上回る回数を実施している。
広報・集客活動	広報・情報発信の実施回数、関係団体との連携回数	A	要求水準等を上回る回数を実施している。
人材育成、ネットワーク形成	こども参画、運営サポーターの活動回数	A	要求水準等を上回る回数を実施している。
利用者対応（事業改善）	アンケート実施回数	B	要求水準等どおり実施している。

3. 市による総合評価

B	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の影響はあったものの、幅広い年齢層に向けたイベントや講座等を実施し、利用者数は目標値を達成した。また、利用者満足度も非常に高かった点は評価できる。 特別展においては、要求水準以上の実施回数を達成するとともに、地元六本松をテーマとした福岡市科学館独自の企画・展示に初めて挑戦するなど、積極的に事業を推進した。 事業の実施状況については、概ね要求水準を達成できたものの、一部水準に満たない項目があったため、次年度以降は、改善に努められたい。
---	--